

令和2年度第1回高知県入札・契約監視委員会 議事概要

開催日時	令和2年8月31日（月）午前10時から正午まで
開催場所	高知県高知市丸ノ内二丁目1番10号 高知県教育会館 高知城ホール 2階 中会議室
出席委員	<p>村 瀬 委 員 長 山 本 副 委 員 長 近 藤 委 員 田 中 委 員 渡 邊 委 員</p>
次 第	<p>1 開会</p> <p style="padding-left: 40px;">土木部副部長挨拶</p> <p>2 議事</p> <p style="padding-left: 40px;">(1) 入札・契約制度の運用状況について</p> <p style="padding-left: 40px;">(2) 抽出事案の審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県道重倉笠ノ川線 防災・安全交付金工事 ・ 県道高知本山線（梶谷橋2）防災・安全交付金工事 ・ 県道後免中島高知線 公共施設等適正管理推進工事 ・ 県道横浪公園線 防災・安全交付金（宇佐大橋）工事 ・ 和食ダム左岸再掘削面地質調査委託業務 その2 ・ 春遠ダム（春遠第1ダム）施工設備実施設計等委託業務 <p>3 その他</p> <p style="padding-left: 40px;">(1) 次回の開催日程について</p> <p style="padding-left: 40px;">(2) 抽出委員の選定について</p> <p>4 閉会</p>

<抽出事案の審議>

意見・質問	回答
<p>県道重倉笠ノ川線 防災・安全交付金工事について</p> <p>(特になし)</p>	
<p>県道高知本山線（梶谷橋2）防災・安全交付金工事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事費内訳書の不備による失格が1者と伺ったが、工事費内訳書の不備とはどのようなものか。 ・ 辞退が非常に多いが、どのように考えているか。 ・ 維持補修工事の増加を見据えて、専門業者と中期的に契約をするようなフレームワークアグリーメントを県として考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出された工事費内訳書に、県が要求した工種の記載がなかったもの。 ・ 年度末においては、発注量増加の影響を受け、辞退が多くなる傾向にある。一方で、本案件のような少額工事は年度当初から発注されており、特に利幅が少ない工事や長期間技術者が拘束されるような工事は、人手不足から年度末に限らず、辞退が発生している。小規模ながらも維持修繕工事は地域のインフラ機能や交通安全の確保等非常に重要であることから、発注者として手持工事量等、不調不落が生じないよう勘案しながら指名を行う必要がある。 ・ 現時点では、フレームワークアグリーメントを行うという考えには至っていないが、今後もそういった課題があれば、検討の余地もあると考えている。
<p>県道後免中島高知線 公共施設等適正管理推進工事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約変更が生じたとあるが、その理由について教えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取り合わせ道路であることから現道への対応等が必要であること及び施工体制や現場条件が変わったことにより、増額及び工期延長をしたものである。

意見・質問	回答
<p>県道横浪公園線 防災・安全交付金（宇佐大橋）工事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指名競争入札における辞退理由を先ほど伺ったが、一般競争入札においては入札参加資格申請書を提出したうえでの辞退であり、その理由はどのようなことが考えられるか。 ・特殊かつ高度な技術が必要であるならば、総合評価方式（企業評価型）ではなく、総合評価方式（技術提案型）を用いることで、より品質が確保されたのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札参加資格申請から応札までの期間に、設計に関する質疑回答を受けた結果、辞退されたものと推測している。 ・本案件は、高度な技術が必要であるが、技術提案型を適用する金額の目安に達していないこと及び工法自体の施工実績があることから、技術提案を求めずともないと判断したため、企業評価型で行った。ただし、案件によっては、技術提案型の適用金額を下回っていても、工事内容等を考慮し、技術提案型で行う場合もあり得る。
<p>和食ダム左岸再掘削面地質調査委託業務その2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本案件は高度な業務だと思うので、通常の業務委託ではなく、地質リスクエンジニア等に委託することも一策だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発注形態については、この場でお答えすることはできないが、受注者に岩盤の調査をしてもらった後、国のダム技術センターや土木研究所にも評価していただくなど、多様な視点で安全性・健全性を評価している。
<p>春遠ダム（春遠第1ダム）施工設備実施設計等委託業務について</p> <p>（特になし）</p>	

＜次回開催について＞

- ・令和3年2月実施を予定し、詳細は今後協議することで了承された。

＜抽出委員選出について＞

- ・次回の案件の抽出委員は、従来からの50音順による選出により、田中委員とすることとし、了承された。